

守口市総合教育会議会議録

- 1 日 時 平成 28 年 6 月 27 日（月） 午後 2 時 00 分
- 2 場 所 守口市役所 1 号別館 3 階 第 1 委員会室
- 3 出席者 西端市長、渡邊教育委員長、首藤教育長、
榎原教育委員長職務代理者、橋爪教育委員
- 4 内 容

（西端市長）

それでは、守口市総合教育会議を開催いたしたいと存じます。

教育委員の皆様方におかれましては、日頃より守口市の教育行政の発展にご尽力頂き、厚くお礼申し上げます。

また、公私何かとお忙しい中、ご参集賜りまして、誠にありがとうございます。

本日は、平成 28 年度最初の総合教育会議となります。今年度もよろしく願いいたします。

（西端市長）

それでは早速ではございますが、守口市教育大綱（案）について、事務局から説明を受けます。

（尾崎企画課長）

企画課長の尾崎でございます。それでは、大綱案について説明させていただきます。前回、2 月 15 日の総合教育会議においてお諮りしました、守口市教育大綱（案）について、教育委員会よりいただきましたご意見と、市長部局において追加した内容を反映させたものが今回お配りしている大綱案でございます。

また、2 月 15 日時点の案もお配りしていますのでご参照いただけたらと存じます。順に主な変更箇所を説明いたします。

まず教育委員会からご意見がありました、守口市総合基本計画に掲げられている教育に対する考え方と、守口市教育大綱との関連づけについてでございますが、大綱案の項目 2 及び 5 において反映させております。

まず、項目 2、策定にあたっての考え方に、総合基本計画に掲げる「学びとつながりを深め、豊かな心と生きる力が育つまち」、重点分野に掲げる「教育・子育ての充実」を踏まえ、「めざす守口の教育」を基礎に、本大綱の理念及び基本方針を定める形で構成する旨を記載しています。

また、市長と教育委員会が本大綱に基づき、連携・協力し、それぞれの権限と責任において本市の教育行政を推進していくものとしています。

項目5は、本大綱の体系図として総合基本計画との位置づけを明確化したものでございます。

次に、ご意見いただきました「現状と課題」の記述については、項目4に、新たに追加しました。ここでは、「学校の小規模化」、「子ども達の安全・安心の確保」などの課題の解決に向けた取組や、社会教育の観点から学校・地域の連携・協働を推進する取組について記載し、市長部局と教育委員会が連携を深め、学校教育と社会教育に関する施策を総合的に推進していく必要があるとしています。

次に、項目7の施策の方向性と基本方針ですが、まず、施策の方向性として、総合基本計画にある「家庭・学校・地域の連携による次代を担う子どもの育成」と「つながりとふれあいの推進」を掲げ、その下に、それぞれ基本方針を位置づける構成としています。各基本方針については、基本方針1に、「安心して子育てができる環境整備」を追加しました。

これは、総合基本計画の重点分野に掲げる「教育・子育ての充実」を基に、保護者負担の軽減に関する取組の推進を加えたものです。

基本方針2「学力を伸ばす」から基本方針5「学校力を高める」については、変更はございません。

次に、基本方針6の「魅力ある学校づくり」につきましては、「児童・生徒が、自分のやりたいことを見つけ、大きな夢やあこがれを抱き、志をもって主体的に自らの進路を実現できる環境整備を推進します」を追加しました。

基本方針7の「人・地域がつながる」には、もともと学校開放に関する記述がありましたが、文化・スポーツを通じた、生きがいのある地域社会の実現の観点から、基本方針8の「生涯学習社会をつくる」に入れることとしました。

また、基本方針8には、生涯学習活動を地域振興や健康づくりなどの関連行政とあわせて、より良い地域づくりに結びつけていくことを記載しています。

こちらに関しましては、本年4月の機構改革で教育委員会生涯学習部を市長部局へ移管したことにより、生涯学習施策を市長部局の施策とあわせて行い、地域課題の解決や、生涯学習のより一層の振興につなげようとするものです。

最後に、大綱の策定にあたっては、本日の総合教育会議において、この案で策定へ進めていくこととなれば、7月にパブリックコメントを実施し、大きな変更がなければ、8月中に策定というスケジュールを想定しております。

以上でございます。

(西端市長)

事務局からの説明が終わりました。

このたびの案には、私としまして、若い世代や子育て世代の定住を促進する

ため、幼児教育から青年期に至るまで、守口市独自でできる教育を行っていき
たいという思いから、基本方針に子育ての項目を追加しました。

また、幼稚園の無償化を見据えて、「保護者負担の軽減」という文言も入れさ
せていただきました。

さらには、今後、学校選択制の導入の検討も含めて、魅力ある学校づくりに
取り組んでいくため、基本方針6に、児童や生徒の自らの進路の実現について
の記述を加えました。

それでは、この守口市教育大綱（案）につきまして、ご意見などありましたら、
お願いいたします。

（渡邊教育委員長）

市長の考えをできるだけ盛り込んで、充実したものになってきたと思います。
我々、教育委員会の中で議論いたしましたのは、学校選択制も含めてという部
分ですけれども、これについては、今後、我々も考えていかなければいけない
状況であるのは間違いないのですが、従来、教育委員会では、地域に根ざした
教育というのを中心に据えて教育を展開してきておりますので、そのあたりと
の整合性を十分考慮しつつ、全国的に学校選択制というのが試行的に取り組み
れているという部分もございまして、それぞれ良いところ、悪いところ
もある中で、それぞれの地域性に根付くような工夫をこらした上でやらないと
なかなかうまくいかないという問題もあるので、他都市で実際に実施されてい
る状況も考えながら、守口にとって一番いいのはどういう形かというのを探っ
ていくのが大事なんじゃないかという話をしておりました。

（西端市長）

その通りだと思います。守口市は地域に根ざしたという考え方の中で、この
狭隘な守口においては、郊外の学校とは違い、どういう選択制がよいのか、教
育現場での選択制、放課後における選択制、様々あるので、今後、市長部局、
教育委員会の中でも検討していただき、よりよい方向でやっていけたらと思
います。選択制もあるということ視野に入れておいてもらいたい。

（渡邊教育委員長）

現実問題として、例えばいじめがあつたりで学校にいけない状況になった場
合は柔軟に対応してほかのところに行く制度もあるので、今までやってきた制度
と新たな制度との整合性というのもあるかと思いますが、市長のお話にもあ
つたように、放課後の部活動であるとかについては、客観情勢として、こども
たちの数が減り、先生数が少なくなるわけで、中学校でそれぞれの学校ごと

に部活動をやるのが難しくなってきた状況もあるわけで、したがってそのあたりをどのようにしていくかは教育委員会としても課題で、柔軟に考えていかなければいけないという客観情勢もあるわけですから、単に親の希望で好きなところに行けるという画一的な考え方ではなくて、柔軟に今までの制度も生かしつつ、守口市として地域に根ざした教育を展開して郷土愛に溢れたこどもたちを育てようという基本姿勢が崩れないようにということを考えながらどのようにするのがいいのか、なかなか難しいですけれども、守口版のものが全国的にそういうことを検討しておられる方々に参考になるようなものになればいいなと思います。

(西端市長)

行政として初めての試みというのはなかなか出来にくいというのは現実にあるが、そういうことも果敢に取り組んでいかないと遅れを取るという表現が適切かはわかりませんが、守口市は守口市独自の教育方針を突き進んでいかなければならない部分もあると思います。

(渡邊教育委員長)

いままでやってきたことをひっくり返すのはまずいわけで、継続性という意味でも今までの線を踏襲しつつ、より良いものにする方法を考えていくのが良いと思います。

(首藤教育長)

公民館制度からいわゆるコミュニティセンター中心にこれから作り上げていくだろうと、そうするとコミュニティと組織と学校とがきっちり結びつかなければいけないと思います。コミュニティの意見が学校権限にどこまで反映されるのかこれをこれから検討していかなければならない。教員も校長も教頭も何年かしたらいなくなる。しかし地域の方々はずっとおられるわけですから、その意見がどこまで教育施策の中に反映されるか、その部分もこれからやっていかないと学校が地域に根ざしたといっても学校の情報を隠したままではありえないので、そのあたりは具体的に検討していく時期にきているのではないかと思っております。

(西端市長)

今までの取組みとは180度変わったコミュニティの協議会としてやっていただく感じになってるので、教育現場においても、関わりが今後はどれだけ深くなっていくかということをお我々も注目しなければならない。

(西端市長)

その他に意見がないようであれば、次に議題の2、その他でございますが、この総合教育会議は、教育大綱の策定に関する協議のほか、教育条件の整備や、幼児教育、放課後施策など、さまざまな教育に関する課題を協議する場でございます。そこで今後の教育や総合教育会議について、何かご意見やご要望がありましたらお願いします。

(渡邊教育委員長)

認定こども園というのが計画的に進んでいくなかで、どのようになっていくのか期待を込めて見ているというところではあるんですが、この運営に関わっては、我々もあまり詳しく承知していませんので、保護者の方々も含めて十分に周知するということが必要だろうと思います。今までの幼稚園とはどう違うのか、保育所とはどう違うのか、変わることでどう良い面があるだとか、大変興味のあるところだと思えますし、子育て支援という意味でも変わることが結果的に良いことでないと、今までより不自由になったという話では困ると思えますし、そこらへんは十分に周知を図ることが大事だなと思えます。保護者の方々には口コミも含め結構いろいろな情報を得ておられますから興味半分にいろんなことを議論なさると思えますし、できるだけ間違った議論が進まないうちに正しい議論をきちっと広めることが必要であると思えます。せっかく新しく作るのであれば、良いものを作って欲しいと思えますし、私立の幼稚園を含めてのあり方はなかなか難しいと思えますし、どの形が一番理想なのかは我々わからないところではありますけれども、私学経営の問題等とも関わってくる事だろうと思えます。守口市の教育全般あるいは、保育全般という意味で、どうあるのが一番良いのかというあたりですね、保護者の方々に広報等を通じてきちんと伝えることがとても大切だと思います。

(西端市長)

きっちりとした情報を行政として、教育委員長おっしゃったように市民の皆様にも周知させていただきます。

(西端市長)

意見がなければ、ここまでとさせていただきます。本日は、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

これからも、守口市の教育行政の推進について、ご協力をお願いしまして、本日は閉会とさせていただきます。ありがとうございました。